

みなみよしだ

〒232-0022 横浜市南区高根町2丁目14番地 TEL 045-231-8082 FAX 045-262-5081
学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamiyoshida/>

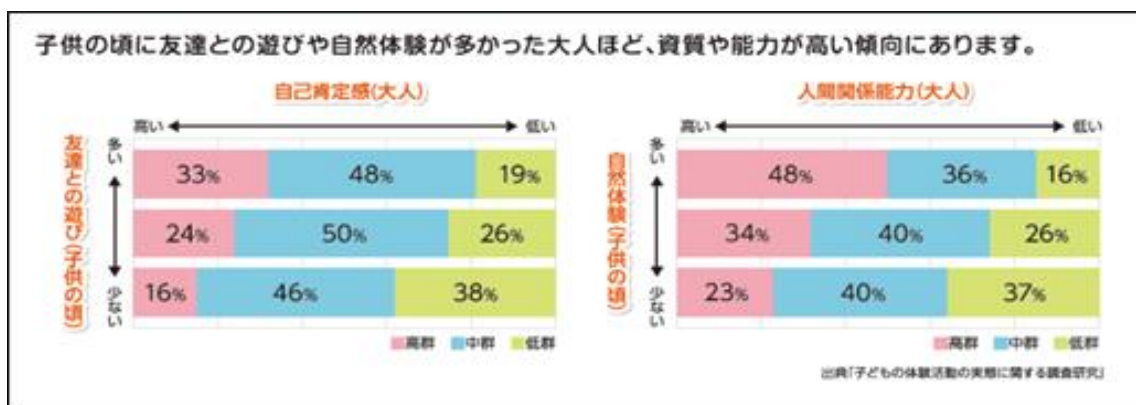
「子どもの頃の体験は、その後の人生に影響する」

学校長 金子 正人

正門わきの紫陽花が登校する子どもたちを迎えてくれています。気づけば季節は進み、梅雨の晴れ間にのぞく太陽が夏の到来を告げています。

5月から6月にかけて宿泊行事が続き、4年生は金沢区の野島、5年生は神奈川県三浦、そして6年生は栃木県の日光へと出かけます。宿泊行事には学年に応じた目的があり、プラネタリウム見学や魚市場見学、世界遺産見学など学習の要素と、ウォークラリーやハイキング、野外炊事、海の活動や収穫体験、キャンプファイヤーやキャンドルファイヤー、景勝地訪問など様々な体験を組み合わせプログラムを組んでいきます。私は小学生時代、林間学校で箱根に、臨海学校で伊豆に行ったことを覚えています。40年以上前のことですが、山登りが辛かったことや、友達と一緒に活動したウォークラリーのことは今でも不思議と覚えています。当時の友達とは今なお付き合いがあり、一生の財産として大切にしています。

国立青少年教育振興機構が平成22年に発行した「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書によれば、子どもの頃に、友達との集団遊び、自然体験や動植物とのかかわり、地域活動、お家の手伝いなどの体験が豊富なほど、「友だちがとても幸せな体験をしたことを知ったら、私までうれしくなる」といった「共生感」、「経験したことの無いことには何でもチャレンジしてみたい」といった「意欲・関心」、「けんかをした友だちを仲直りさせることができる」といった「人間関係能力」が高い傾向があることが明らかになっています。



「子どもの頃の体験は、その後の人生に影響する」というまとめには、大きくうなずけます。

学校の教育活動でも多くの体験が準備されています。1年生は生活科で朝顔を種から育てながら学校探検の後半を楽しんでいます。2年生は好きな野菜を苗から育て日々の成長を観察カードに記入しています。3年生はまち探検で地域理解を深め、総合的な学習でカイコを育て命の不思議を学んでいます(地域の方から多くの支援をいただいています)。個別支援級ではサツマイモの苗を植えて秋の収穫までお世話を続けます。そして、飼育委員会では新たにうずら(鳥)を卵から孵化させる活動に挑戦します。藤本前校長先生がお勤めされている日本語支援拠点「ひまわり」からはひまわりの苗のおすそ分けがありました。

ひとつ一つの体験が、子どもたちの人生をより豊かなものにしてくれることを信じて、今日も教育活動を展開しています。